

ミヤコシ

糊殺し+糊面印刷をオフ輪機上で

従来のオフセットラベル輪転機のイメージを変えた「MLP」シリーズは、「JGAS2005」でのお披露目以来、ラベル印刷業界では高い評価を受けている。セクショナルドライブ方式の採用により、ユニットごとに版替え・段取り替えができるので、準備時間を大幅に短縮。また、リピートデータの活用により大幅に損紙低減を可能にしたことから業界の注目を集めた。

今回発表する「MLP13A 型」は、これまでのオフセットラベル輪転機にはない、糊殺し+糊面印刷(凸方式)をインラインで加工ができるというものだ。こうしたインライン化により、工程枠とコストの削減、段取り時間の短縮など、多くのメリットを得られる。IGAS2007では表面5色印刷を行った後に、オフ印刷部6色を利用して、疑似エンボス加工をする。続いてフレキシソ部でニス加工をして、糊殺し+糊面印刷の工程を経てダイロールで抜き加工し、巻き取るまでをデモンストレーションする。

まさに、注目のラベル用オフ輪転機といえるだろう。

(S&L No.5 2007 秋季号掲載)